

会議録（案）

会議の名称	男女平等参画推進委員会 令和7年度 第4回
開催日時	令和7年12月16日（火曜日） 午後6時15分から8時05分まで
開催場所	田無第2庁舎4階 会議室2
出席者	出席：笹川委員長、平副委員長、星委員、中村委員、安田委員、山辺委員、鈴木委員、 篠宮委員、高岡委員、橋本委員、和田委員 欠席：加藤委員、井上委員、岩本委員 事務局：河野課長、野口主査、渡邊主任、玉根主事
議題	1 議題 （1）令和7年度第3回男女平等参画推進委員会会議録の承認について （2）第5次計画実績評価報告書について 2 その他
会議資料の名称	令和7年度第3回男女平等参画推進委員会会議録（案） 資料1 評価報告書の構成検討（案） 資料2 担当課評価・委員会評価（案） 資料3 令和7年度男女平等参画推進委員会開催日程
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>【開会】</p> <p>○事務局：これより第4回男女平等参画推進委員会を開催する。 ～事務局より委員の半数以上が出席しており委員会が成立している旨の報告～ ～事務局より配布資料を確認～</p> <p>1 議題</p> <p>（1）令和7年度第3回男女平等参画推進委員会会議録の承認について</p> <p>○委員長：お手元にある議事概要を少しお読みいただき、ご意見を伺いたい。 （黙読）</p> <p>○委員長：時間になったので、ご意見のある方は発言をお願いしたい。 特にご意見はないようなので、この内容で決定させていただきたい。 （異議なし）</p>	

(2) 第5次計画実績評価報告書について

○委員長：事務局から説明をお願いします。

～資料1と2を用いて第5次計画における評価報告書の構成について提案～

○事務局：構成案について、委員会評価が施策ごとの評価となったことから、担当課評価と委員会評価を合わせた形でいかがか。

また、重点課題別評価については委員会評価と重複するため、「重点課題」と表示し、一本化してはどうか。

○委員：評価を統一すること自体は問題ない。

ただし、担当課評価の方法について、具体的な数値を出して評価できるようにしてほしい。

○事務局：来年度の評価については担当課と調整するなど善処したい。

もう一点、委員会評価のコメントについて、「評価できる点」と「改善点・課題など」という項目に分け、分かりやすくしてはどうか。

○副委員長：これまでは、一つの項目に評価できる点と改善点を書いていたが、そこを分かりやすくすることには賛成だが、記載された改善点などをしっかり反映していただきたい。

○事務局：承知した。

○委員長：評価をする際に、担当課評価のみでは評価がしにくい場合がある。ホームページなどを確認しながら評価をしているが、評価の仕方について迷っている委員もいるのではないか。

また、委員同士で知恵を出し合い、評価について話し合う時間を設けても良いのではないか。

○委員：施策に関して、様々な課が取り組んでいるが、施策ごとに各課で話し合いなどは設けられているのか。

○事務局：現状、話し合いはなく、各課で施策に取り組んでいる。

○委員：前年度の評価を9月までに仕上げるなど、スケジュールの変更は可能か。

○委員：9月に評価が出るのであれば、その年度内に改善点への取り組みが可能になるため、スケジュール変更には賛成。

○事務局：前年度の2月で評価を締め、5月の会議から評価を始めることで、10月の会議でまとめるスケジュールに変更できる可能性はある。

○委員：担当課と協働コミュニティ課の話し合いの時間が設けられるのであれば、スケジュール変更を検討していただきたい。

○事務局：承知した。

○委員：評価の際にABCでグループ分けをし、話し合い、出た意見を発表していただく形だが、各評価について話し合いの時間を設け、グループで評価結果を出す形にしたほうが良いのではないか。

○事務局：これまでの方法では、個人の評価がそのまま反映される形だった。グループで話し合いを行い、結論を出して最終評価に反映する方法が良い。

○委員長：他に意見はあるか。

○委員：担当課側からの評価に対する意見をいただきたい。

○委員：担当課側から評価に対してフィードバックを受けることで、委員として評価が伝わっていることが実感できる。

ただ、スケジュール変更や評価の方法変更など、一度に全てを変更するのは難しいと思うため、整

理したうえでどこから着手できるのかを示していただきたい。

○委員長：他にご意見はあるか。

○委員：来年度の事業目標は既に確定しているのか。

○事務局：目標は確定しており、変更するのは難しい。

○委員：取り組んだ事業に対して反省点を記載し、来年度に活かすようなコメントを担当課評価に含めれば評価がしやすくなるのではないか。

○副委員長：職員も忙しいとは思いますが、しっかりすり合わせをしたうえで、評価の方法について検討を進めていただきたい。

○委員：評価方法に関する提案だが、200文字程度などの文字数制限を設けたほうが、内容が簡潔で見やすくなるのではないか。

○委員長：担当課評価については、なぜA評価になったのか、その理由を明記していただくことをお願いしたい。

○委員：現在、担当課が記載しているのは「目標」と「実績」のみだが、「課題」を加えて三項目とすることで、委員会が希望している反省点を記載しやすくなるのではないか。

○委員：以前、担当課にも「課題」を記載してもらっていたが、簡略化のため削除された記憶がある。

○委員長：来年度の目標を策定する際には、課題も併せて記載する形が望ましい。

○委員：ABCDによる評価が実際にどのような影響をもたらしているのか明らかでない場合、評価を廃止してしまっても良いのではないか。

○委員：ABCの記載に固執する必要はないように思う。

○委員：評価が実際の内容を反映していない場合、取り組んだ内容に基づいた評価にするためにはABCは不要ではないか。

○事務局：ABC評価のメリットは、ひと目で評価の高低がわかりやすい点や、低評価の担当課に奮起を促すことができること。ただ、ABCDだけで全てを判断するのは適切ではないため、委員同士で話し合いを行うのも良いのではないか。

○副委員長：担当課評価について、どの職員が評価しているのか。

○事務局：評価は各課の職員が行い、最終的には各課の長が判断を下す。

○委員：例えば、講座を開催した際に、50名募集のうち何名が参加したのか、その参加者数が担当課にとってどのように評価されるのかを明示していただきたい。

○委員：評価の根拠を記載していただくことが重要ではないか。

○委員：文字数に関して、適切な制限を設けることで、より読みやすい内容にする必要があると思う。

○委員長：様々な意見が出たが、時間の関係上、以上とさせていただきます。事務局から最後に何かあるか。

○事務局：今回、皆様からいただいたスケジュール案については、再度見直しを図りたい。

また、評価方法に関しては、本日ご意見をいただいた内容をもとに新たに作成し、1月中旬までにご提出いただけますようお願いする。

その後、次回の会議で皆様にご共有させていただく。

5 その他

○事務局：次回の会議の第5回は2月24日となる。

○委員長：それでは本年度第4回男女平等参画推進委員会を閉会とする。